

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 岐山高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和5年11月9日(木) 14:00~16:00
- 3 開催場所 岐山高等学校会議室
開催にあたり、委員による授業見学を実施した
- 4 参加者 委員 河崎 哲嗣 岐阜大学教育学部 数学教育講座 教授
井關 敦子 岐阜大学医学部 母性看護学 教授
内田 真樹 長良東民生委員 主任児童委員
大音師 敦子 本校PTA副会長
増田 勝美 長良東小学校地区 自治会長 欠席
若井 悟 本校元同窓会長

学校側 石神 政幸 校長
溝下 肇 教頭
舘 弘士 教頭
川口 晋 教務部長
有賀 浩樹 生徒指導部長
小森 美穂 進路指導部長

5 会議の概要(協議事項)

(1) 授業見学(仮校舎の見学を兼ねて実施)を終えて

(意見1) : 仮校舎について、教室や廊下が広い。階段のステップや手すりが(緩やかで)ちょうどよい。前の校舎よりいいと言っている生徒もいるのではないかな。

⇒先週、ふるさと教育週間を行った。(延べ52名が来校。)来校者対象のアンケートの中にも仮校舎が思ったより快適であった、という意見があった。

(意見2) : 見学して気づいたことだが、一生懸命メモをとる生徒がいる一方、授業に集中できない生徒がいた。今やっていることがどれだけ必要かということを生徒に考えさせられるとよい。声かけをして欲しい。

(意見3) : 2階が暖かかったが、冬は冷え込みそうである。

(意見4) : この夏は大変暑かったが、夏の暑い時期、仮校舎で過ごす生徒の健康が心配である。生徒は耐えられたか。エアコンに関して、電気代が値上がりして大学は大変であった。

⇒暑さに関しては仮設校舎になってからエアコンがよく効いて快適である。外で

行う体育の授業や球技大会などは水分を一斉にとる時間を設けた。メモリアルセンターの屋内体育館で運動会を行ったのも暑さ対策の一つである。熱中症もほとんどなかった。

(意見 5) : 私服が選択できることで、髪型も含め彩り豊かである。

(2) これまでの教育活動について

【教務関係】

(意見 1) : 教員の採用試験が大学 3 年生でも受けられるようになった。6 月の中旬。質の高い先生を早めに確保しようという動きである。大学が 3 年制になると思われる。海外では取り入れられている。カリキュラムなどの変更の波が来そうである。
⇒採用試験が早まり教育実習をどの時期に実施するのかという問題があった。県教委からは来年度の教育実習について、採用試験前に行うようにという指示があったが、本校は採用試験後(6月)に実施することとした。次の年(令和7年度)はさらに採用試験が早くなる可能性が高い。3年生で教育実習を受け入れてもらう大学が増えてきそうである。

(意見 2) : 教育学部は小中がメインなので高校からの意見が聞こえてこない。伝えておく。

(意見 3) : 授業態度について、他教科の勉強したり集中できなかったりする生徒がいるとのことだが、授業内容に興味をもたせるとともに、「自分のこと」として捉えさせたい。それが出来れば生徒も変わるはずである。

(意見 4) : 岐阜県は数学の試験はボタン一つで試験が作ることができ、採点も終わると聞いたが、本当か。
⇒そのようなシステムが導入されたわけではないが、デジタル採点システム(百問繚乱)が導入された。パソコン上で採点するのであるが、人間の目で見て採点しているというのは変わっていない。答案用紙を1枚1枚めくる手間等が無いので時間の短縮にはなっている。また得点の計算はシステムが行うため、計算ミスの可能性が限りなく低い。また、読み込んだ答案があるため、生徒の改ざんの可能性も無い。このようなメリットがある。

【生徒指導関係】

(意見 1) : 電動キックボードについて免許不要であり、このあたりでは見ないが、街中によく見る。今後広まると予想される。学校としては禁止するなどの対策は考えているのか。
⇒電動キックボードは県の生徒指導部会でも話題になったが、乗ってくる生徒はいなかった。本校では禁止とは言っていないが禁止の方向での検討が必要である。

- (意見2) : いじめのアンケートで小学校で起きていることが高校で起きているとあったが、幼稚な行動をとるとのことなのか。そういった傾向が強いと社会に出た時に大変である。高校だけでなく小学校でもそのような傾向があり、何かあったら今は先生に上げてしまう。このままでは社会に出てからが心配である。
- ⇒本校の生徒も同様に、幼稚な行動が問題を引き起こすことがある。また、人間関係のトラブルを自分たちで解決できないことも多い。自分たちで解決できるようなことを解決できず、学校に問題行動として上がってくるため、大人が介入してしまうことになり、誰かに解決してもらおうという感覚になってしまう。

【進路指導関係】

- (意見1) : 看護学科では(岐山高校の意)推薦入試による入学生は離職率が低く、授業態度が良く、推薦枠を増やした。優秀な学生を多く推薦で送っていただけると大学(関係者)としても有り難いことである。
- (意見2) : (大学側は)新課程の入試について非常に心配している。ベネッセの模試などの問題をを見てみたい。出題の傾向は前年の12月には決定している。ベネッセから大学がレクチャーを受けているくらいである。
- (意見3) : クラッシーをダウンロードしたがアプリの利用で模試の結果などを見ることができ、便利であった。来年度の利用はどのように考えているのか。
- ⇒半年間試行的に(無料で)活用した。(自主学習やプリントなど便りの受信ができる。)来年度以降は無料ではないため費用対効果も考え採用はしない予定である。

【特別活動関係】

(意見1) : 「躍進岐山」が浸透してきている。文化系で活躍している子供達の発表会を開いている。吹奏楽部が国際会議場で定期演奏会を行うような発表の場を箏曲などの他の文科系部活動にも作ってあげられるとよい。

⇒過去にはオータムフェスタとあって、いくつかの部が中庭等で発表（演奏）する会があったが、今は工事の関係でできない。来年度は総合文化祭が岐阜県で行われる関係で、機会が増える。

部活動とは異なるかもしれないが、国際交流関係で、このあと（本日放課後）ベトナムの高校とオンラインで交流が行われ、3月には実際にベトナムを訪問し交流する。参加する生徒を募ったところ、現時点で18名応募している。来年度の総合文化祭ではベトナムの生徒が来校し交流会も企画されている。

(意見2) : 学校運営協議会の委員は今年で7年目になるが、会議の際に生徒からお茶を出して頂いたのは初めてであり。文化系生徒の活動の一端に触れられとてもよかった。

【ICT関係】

(意見1) : タブレット端末は国産のものか。熱をもったり故障をしたりしないか。愛媛県ではモバイルバッテリーの事故があったが、学校の状況はどうであるか。

⇒マイクロソフト社のもので国産ではないと思う。経年劣化もあり、故障率が上がっているのは事実である。今年度からは修理は自己負担である。

(意見2) : チャット GPT などの対策を大学でもしていけないといけない。大学でもレポートを電子データで提出することが多くなってきた。高校ではどのような対策をしているか。

⇒今後検討していくことに必要性がある。

(3) 生徒及び保護者等対象に実施したアンケートの結果について

(意見1) : 「考えて行動できる生徒を育てる」という意識が伝わってくる。アンケートの項目で「本校に入学できてよかった」という項目のポイントが上がっている。生徒が自分で考えるということが浸透してきており、充実した学校生活を送れていることが読み取れ、喜ばしいことである。

⇒服装の自由化も制服の是非を問題にしているわけではなく、生徒が自分で考えてほしいということである。ふるさと教育週間の来校者対象のアンケートの中にも、校則撤廃の中でも落ち着いて授業を行っているという意見も得られた。

(4) その他

(意見1) : 山口市で熊の目撃情報が4件あった。朝など気を付けていただきたい。

⇒学校でも注意を呼びかけていく。

6 会議のまとめ

- ・会議では、学校の諸活動に対する理解をいただきつつ、様々な視点からの意見をいただくことができ、今年度の後期及び次年度以降の教育活動に活かしていきたいと考える。
- ・次回は1年生の人間探究の発表など生徒の活動の見学できるように日時を調整したい。(2月の月上旬頃を計画している。)